

全国児童養護問題研究会東京支部主催

# 学習会の案内

テーマ：『千葉県松戸市の少年虐待死事件 多くの関係機関が関わ  
りながら、何故虐待死を防げなかったのか。』

～児童養護施設から無理やり引き取られ、虐待死した子の事例について～

講 師：浦島佐登志氏（施設内虐待を許さない会代表）

日 時：2004年12月3日（金）午後6時30分～8時45分

場 所：中野区勤労福祉会館（女性会館）2F 研修室

今年も子どもの虐待死事件が、たびたび報道される一年でした。千葉県松戸市の熱湯を浴びせられ虐待死した少年は、児童養護施設に措置されているながら、無理やり学校の帰りに拉致同然に連れて行かれ、引き取られた子だったとのことです。母親、姉とその友達から度々虐待を受けていました。虐待防止法が施行されて4年、この10月には改正されたばかりです。ところが、痛ましい虐待で、短い命の終焉を余儀なくしてしまう子どもたちが後を絶ちません。子どもたちに関わるすべての大人たち、とりわけまず家族に、地域の近隣の大人に、学校、児童相談所、児童養護施設、警察、関連自治体の所轄関係機関などなど、幼い命の代弁者としてなぜ、この子どもたちを救うことが出来なかったのでしょうか。どこに問題が在所しているのでしょうか。

今回の学習会の講師は、千葉県の恩寵園問題で子どもたちの権利擁護に深く関わり、その活動から施設内虐待を許さない会を立ち上げ、その代表をされている浦島佐登志氏にお願いしました。同じ千葉県の事件ということで、松戸市のこの事件にも非常に関心を寄せられているところから、このケースを通して、多くの関係機関が関わっていたにもかかわらず、少年の虐待死を防げなかったことを、関係各機関、子どもが入所していた児童養護施設に焦点を当てつつ、その問題点と課題についてお話いただきます。ぜひ、お友達を誘ってご参加ください。

## 【会場へのアクセス】

JR中野駅南口から、徒歩5分。交番の横を通り、線路沿いの坂を新宿方面へ向かって登り、サンクスを右折して、1分。

【参加費】会員；無料 一般；500円

会場にて会員の申し込みを受付けています。

【問い合わせ先】事務局 042-341-1686 柴山まで

